

2024年12月19日

各位

富士ソフト創業者 野澤 宏  
株式会社 BCJ-88 代表取締役 杉本 勇次

### 創業家及びベインキャピタルとしての富士ソフト株式会社に対する公開買付けに係る考え方について

ベインキャピタル・グループ（以下「ベインキャピタル」といいます。）と富士ソフト株式会社（以下「富士ソフト」といいます。）の創業者である野澤宏（以下「創業家」といいます。）は共同で富士ソフトの非公開化を目指しております。

ベインキャピタルと創業家はこれまで一貫してすべての株主にとって魅力的な提案を継続しておりますが、富士ソフトの取締役会は、特別委員会の判断に依拠することによりベインキャピタルと創業家の提案に対しての賛同意見を表明していないだけでなく、反対する旨の意見を表明しております。

ベインキャピタルと創業家としては、富士ソフトの特別委員会メンバーの選定プロセス（過去特定の株主が招集した臨時株主総会で選定された社外取締役で構成されており、本件取引における独立性についての懸念のある構成）、特別委員会による非公開化のパートナー選定のプロセス、ベインキャピタル提案後の特別委員会の対応、について強い懸念と不信感を有しています。そのような状況から、ベインキャピタルと創業家としては、株主の皆様適切に判断いただく選択肢を提供すべく、公開買付け開始の前提条件のうち、富士ソフトにおいて本公開買付けに賛同する旨の取締役会決議がなされていることを放棄するに至りました。ベインキャピタルと創業家としては、そのような判断に至ったものの、あくまで実質的に本件に係わる意思決定を行える立場の特別委員会が本来の特別委員会の目的を見失っていると思われることに起因しているもので、創業家と共に経営を行ってきた執行経営メンバーの多くは、本件に対してもより公平な判断をされるものと思われ、ベインキャピタルと創業家の公開買付けに賛同いただけるものと考えております。したがって、公開買付けが成功した場合現執行経営陣を尊重した経営を行っていく方針です。

創業家及びベインキャピタルは共同で富士ソフトの 50.1%超を取得し株主間で連携して参ります。富士ソフトは改めてお客様から信頼を得られるサービスを愚直に提供することにより持続的な価値創造につながることを確信しており、富士ソフト経営陣とともに最大限の努力を務めていきたいと考えております。

以上